

# 「命を守る、命をつなぐ」 アンケート結果

CAN（消費者行動ネットワーク）

CANは、11月9日(土) 栄 オアシス21で開催された名古屋消費生活フェアにおいて、「気候変動と食料」のブースを出展しました。

対話アンケートを実施し 100名の方から回答いただきました。

以下、集計結果です。

(文責 大村昌宏)

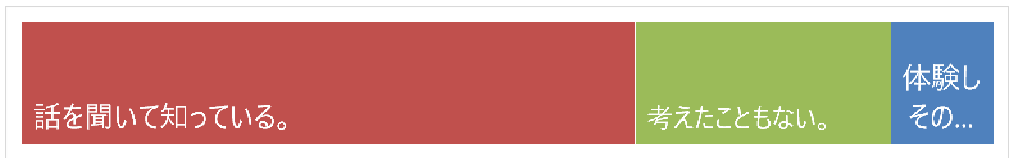


実施日 2019年11月9日(土) 10時～16時  
 場所 栄 オアシス21  
 イベント名 名古屋消費生活フェア  
 回答者数 100名

(用意していたアンケートは100枚。15時には無くなり……)

## 1. あなたは「飢え」の怖さを知っていますか？

- |                   |     |    |
|-------------------|-----|----|
| a. 体験しその怖さを知っている。 | 11% | 10 |
| b. 話を聞いて知っている。    | 63% | 60 |
| c. 考えたこともない。      | 26% | 25 |



- a. どんな体験か教えてください  
 災害 伊勢湾台風  
 戦後、食料難で  
 お金がなくて
- b. 誰から、どんな話を  
 祖父母から戦争の話を聞いて  
 災害 伊勢湾台風

{問い1 結果コメント

「飢え」の怖さを体験して知っている方。伊勢湾台風を経験された方。戦後の食料難を経験された方がいました。

他にも戦争体験者がいましたが、農家だったため食べ物には困らなかった。街の方は大変だったと思う。着物を持ってきて食べ物を求めていた。農家には着物が貯まった。

留学時にお金がなくなってという方が一人。食べ物の支給制度を知って救われたとのこと。

「誰から、どんな話を」には、祖父母から戦争の話をという方が。

2. 今、世界で9人に1人が「飢え」に苦しんでいることをご存じでしたか？

93

- a. 知っていた。 48% 45
- b. 今日、始めて知った。 52% 48



{問い2 結果コメント}

世界で9人に1人が飢えに苦しんでいる事、知っていた方と知らない方が半々。

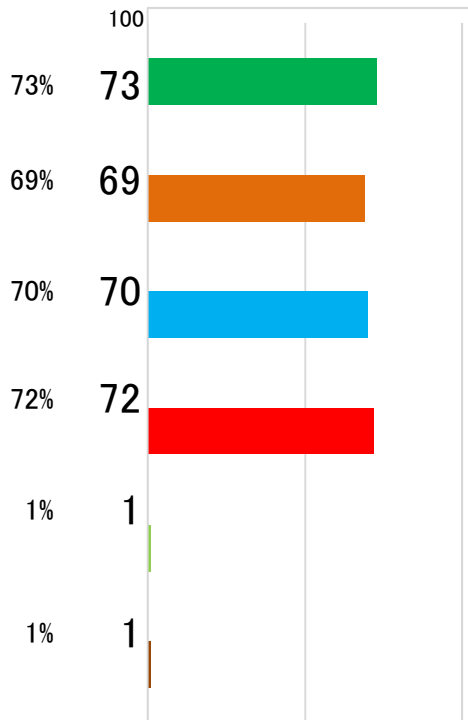
知っていた方は、テレビ等での黒柳徹子さんらのユニセフ広報でという方が多かったです。

3. 食品ロスを減らすために、どんな取り組みをしていますか？しようと思えますか？  
日本では、食べられるのに捨てられる食品ロスが、1年間で647万t発生しています。

#REF!

\*% は、回答者中の割合。棒グラフは回答者数。

a.	たくさん買い過ぎない。	73%	73
b.	食材は、使いすぎない。	69%	69
c.	たくさん作り過ぎない。	70%	70
d.	残さず食べる。	72%	72
e.	まったく考えたことがない。	1%	1
f.	その他 取り組もうと考えていること。	1%	1



{問い3 結果コメント}

「食品ロス」については、ほとんどの方が自覚されていました。会場は消費生活フェア、アンケートに応じてくれたのは意識の高い方？

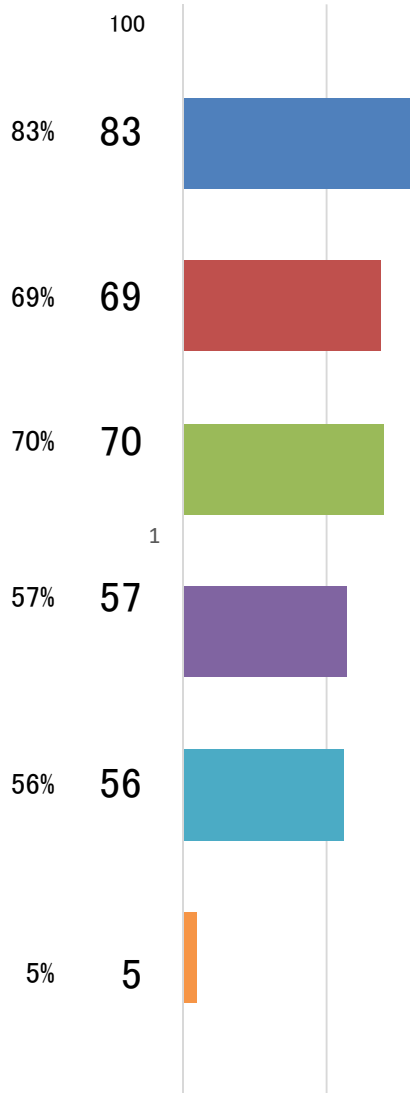
7割り以上の方が、「たくさん買い過ぎない」「残さず食べる」と回答。「食べ物は粗末にしない」モラルがまだ生きていました。

### 3. 「地球温暖化の進行によって世界的な食料不足、危機の発生する」というIPCCの警告をどう思いますか？

{問い 3 結果コメント}

\* % は、回答者中の割合。棒グラフは回答者数。

a.	大型台風や異常気象の頻発を考えると、地球温暖化対策に取り組まないととんでもないことになると思う。
b.	日本の食料自給率が低いのが心配だ。国民を飢えさせない、命を守る対策として、食料安全保障の推進が必要だ。
c.	森林は、温暖化の原因となるCO2を吸収する。地球温暖化対策として森林を維持、拡充が必要だ。
d.	農林業の多面的機能(食料生産、治水、生物多様性、国土保全、温暖化対策)を評価し、その維持、拡充に真剣に取り組むことが必要だ。
e.	CO2を大量排出する石炭火力発電所をこれ以上増やしてはいけない。
f.	地球温暖化論は、科学者の予算欲しさのマヤカシだ。



温暖化対策に真剣に取り組まないとは、8割り以上の方の認識でした。

「食料安全保障」の考え方にも7割りの方に賛同いただきました。

石炭火力発電所が大量のCO2を排出していることを知らない方が多かったのですが、知っていただきました。

温暖化マヤカシ論の方が少数ですがいらっしゃいました。



ブースで市民の皆さんと対話したCAN事務局のメンバー。お疲れさまでした。